

2012年3月期第2四半期 決算説明会

荏 原 (6361)

2011年11月7日



2012年3月期第2四半期決算 サマリー

(単位：億円)

	2011年3月期 第2四半期 (実績)	2012年3月期 第2四半期 (実績)	増減
受注高	1,927	1,856	△70
売上高	1,731	1,759	+28
営業利益	96	30	△65
経常利益	77	1	△76
四半期純利益	38	△3	△42

実績レート	1ドル=90.5円	1ドル=80.4円	—
想定レート	1ドル=90円	1ドル=80円	—

※ 本資料において、特に記載のない限り「第2四半期」「2Q」は4月1日～9月30日の6ヶ月間累計期間とします。

2012年3月期第2四半期決算 サマリー

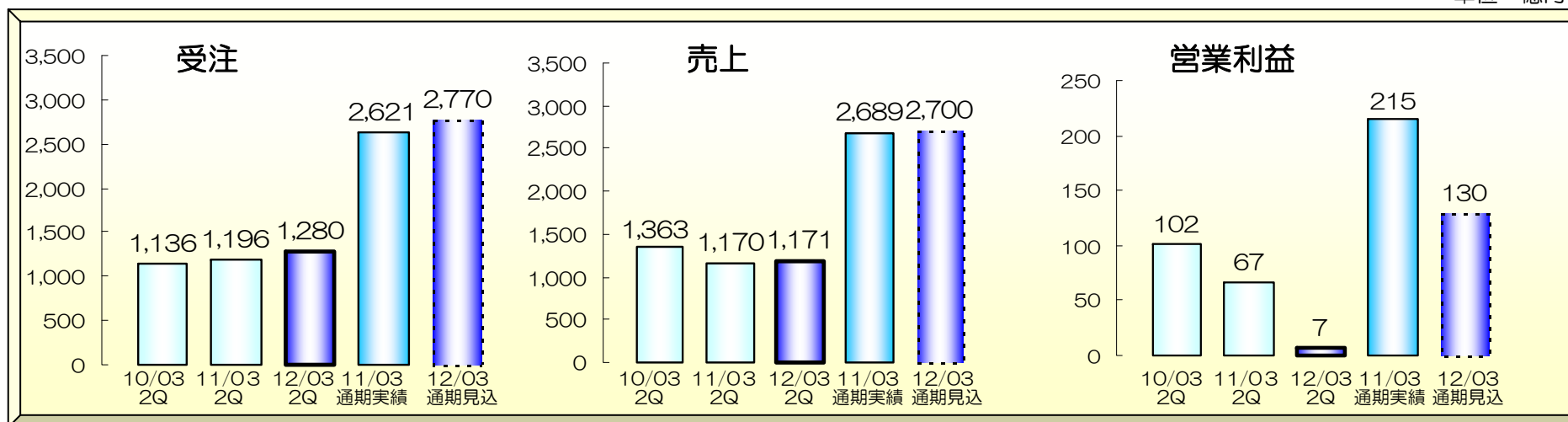
(単位：億円)

		売上高			営業利益		
		2011年 3月期2Q	2012年 3月期2Q	増減	2011年 3月期2Q	2012年 3月期2Q	増減
報告セグメント	風水力事業	1,170	1,171	+0	67	7	△60
	エンジニアリング 事業	186	169	△16	△11	△34	△22
	精密・電子事業	317	373	+55	37	53	+16
	その他の事業	56	45	△10	0	2	+1
	調整額	—	—	—	1	1	△0
	合計	1,731	1,759	+28	96	30	△65

2012年3月期第2四半期決算 セグメント別

風水力事業

単位：億円



上期業績

【受注】

ポンプ事業が新興国を中心に好調に推移したこと、石油・ガス業界の投資が活発であったことにより、前年同期実績を上回る受注を確保した。

【売上】

コンプレッサ・タービン事業で売上が減少したものの、新興国でのポンプ事業、冷熱事業の売上が増加し、前年同期実績並となった。

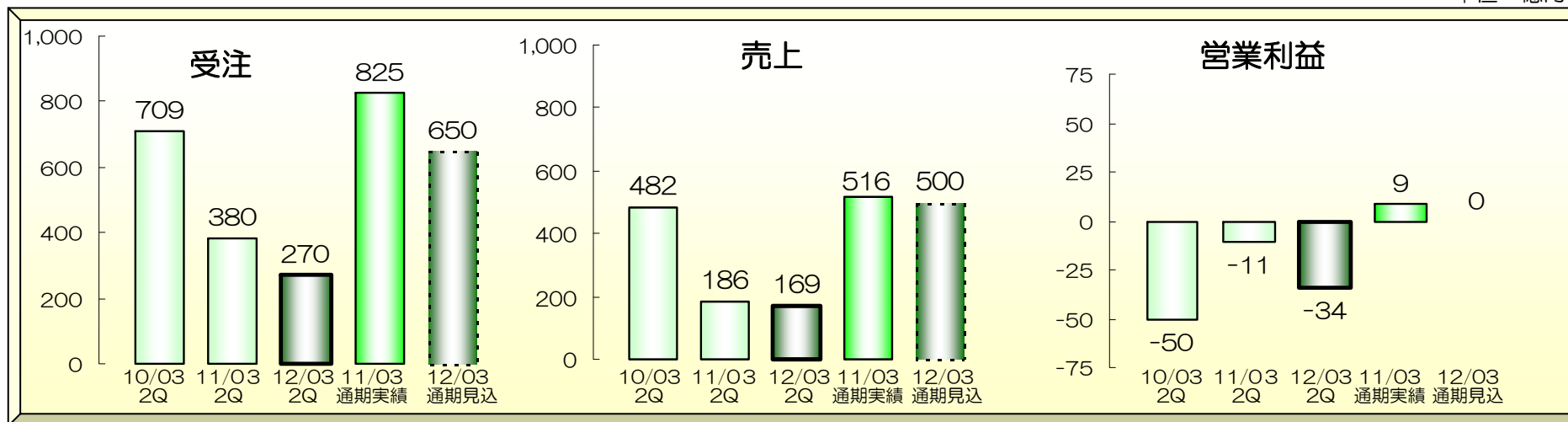
【営業利益】

円高の進行、低採算案件の売上計上、固定費の増加などの要因により、前年同期実績に比べて大幅な利益減少となった。

2012年3月期第2四半期決算 セグメント別

エンジニアリング事業

単位：億円



上期業績

【受注】

EPCでは新規案件受注がないが、O&Mは堅調に推移した。

【売上】

EPCの売上減により前年同期実績を下回った。

【営業利益】

原価低減を徹底して継続するなど収益性の改善に努めたものの、海外工事において期間内に引き当て計上した金額が増加した結果、赤字額が前年同期実績に比べて増加した。

2012年3月期第2四半期決算 セグメント別

インフラサブプロジェクト 進捗状況について

今回の追加引当項目

- ・ 追加改造工事費および現場維持費用
- ・ 工事期間中の不測の事態に対応するための予備費

追加引当合計 40億円

今後のスケジュール（予定）

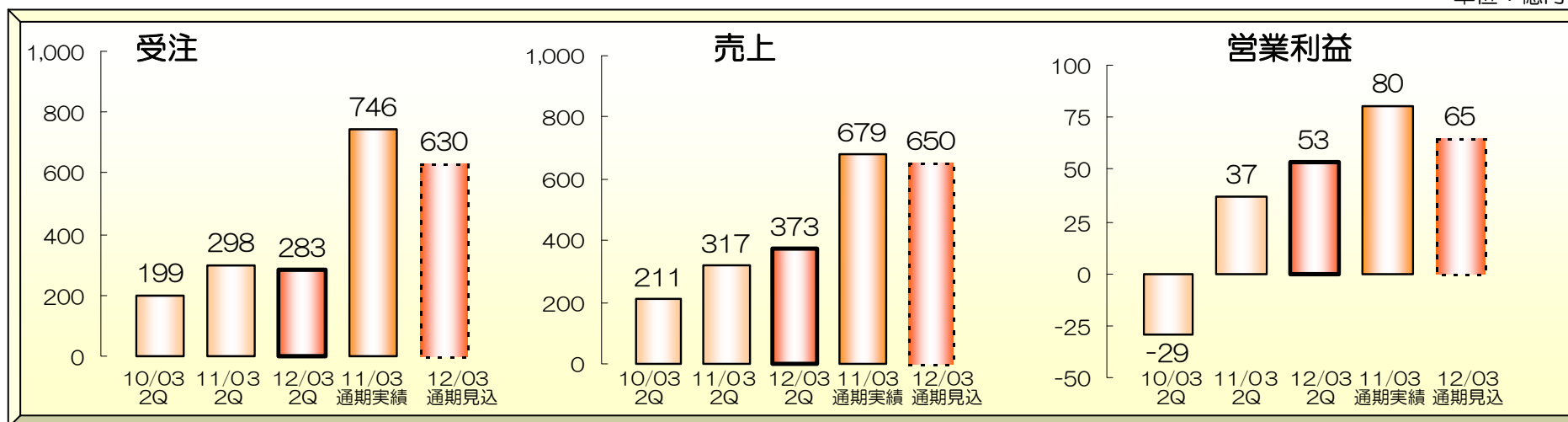
PTO

2011年 12月末

2012年3月期第2四半期決算 セグメント別

精密・電子事業

単位：億円



上期業績

【受注】

世界的な景況感の悪化により半導体需要が低迷し、半導体メーカーの設備投資計画が相次いで後ろ倒しとなった。

【売上】

投資を継続している有力顧客向けの出荷が堅調だったことに加え、前期からの受注残に支えられたことにより、売上は堅調に推移した。

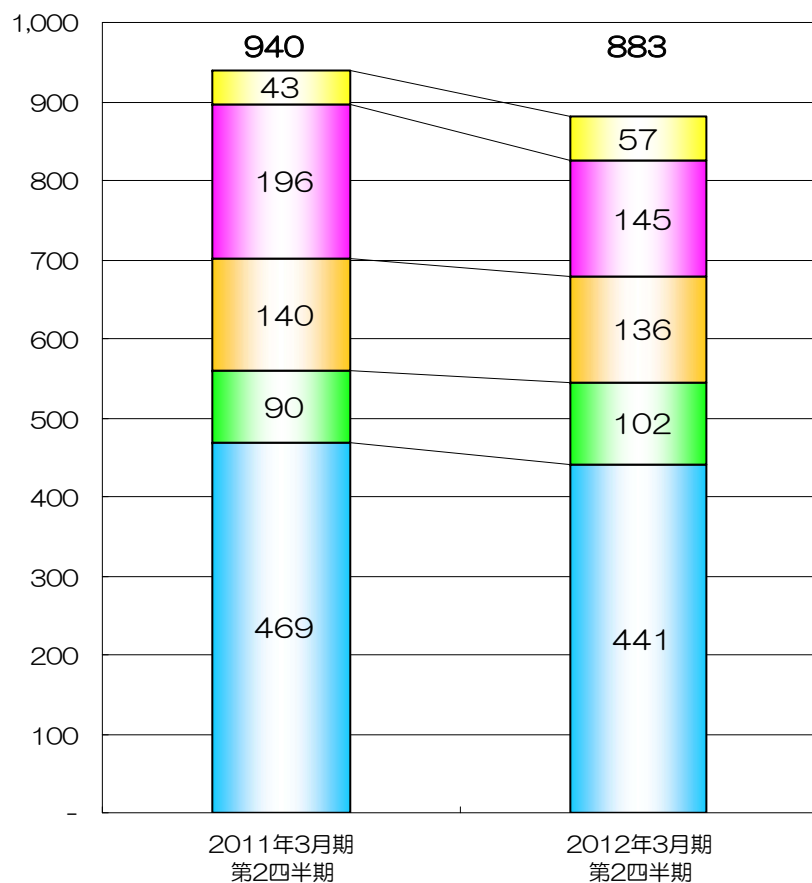
【営業利益】

生産革新活動の効果が期初から現れたこと、採算のよい案件が多かったことなどもあり、営業利益が改善した。

2012年3月期第2四半期決算 地域別売上高推移

地域別売上高（日本含まず）

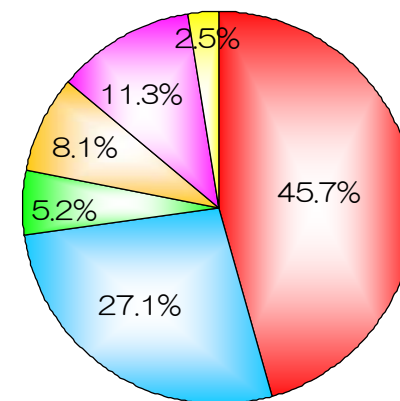
単位：億円



地域別売上構成

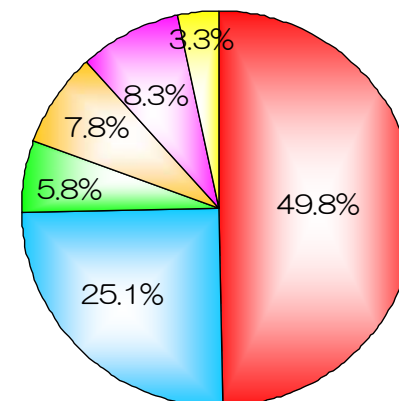
海外売上比率
54.3%

11年3月期
第2四半期



海外売上比率
50.2%

12年3月期
第2四半期



2012年3月期セグメント別業績見通し

風水力事業

(単位 億円)	2011年3月期 通期実績	2012年3月期 期初計画	2012年3月期 見込み	増減 (対計画比)	増減 (対前期比)
受注	2,621	2,900	2,770	△130	+148
売上	2,689	2,700	2,700	—	+10
営業利益	215	150	130	△20	△85

通期見通し

- 受注計画 海外市場での石油・ガス業界の市場拡大を見込む。一方、期初計画比では円高の影響や価格競争の激化などによる減少を見込む。
- 売上計画 為替の影響はあるもののポンプ事業及び冷熱機械における海外市場を中心とした一般産業や建築設備投資の回復などにより前期並みを見込む。
- 利益計画 収益性の改善や固定費の圧縮に努めるものの、円高の進行や低採算案件の影響などにより、期初計画より減益を見込む。

2012年3月期セグメント別業績見通し

風水力事業

・・・ 事業別主要施策

事業方針	主要施策
<p><u>グローバル市場での競争優位の実現</u></p>	<p>ポンプ事業</p> <p>海外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域別マーケティングによる製品・販売戦略の展開 → 地域ニーズに合致した製品の販売 ・中東・中国・インド等の新興国の事業拡大 → 堅調な需要を捉えるための各種施策の実施 ・サービス&サポート拠点のネットワーク整備と体制強化 → 拠点整備の着実な遂行 ・グローバルサプライチェーン体制の構築 → 効率的生産・物流の体制構築 <p>国内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災からの復旧に向けた最優先の取り組み ・省エネルギー製品シリーズの投入による国内シェア拡大 → 高効率ポンプシリーズ展開 ・更新・アフター案件への取組み強化 → 積極的営業展開の推進
<p><u>国内事業の徹底的な収益力向上</u></p>	<p>コンプレッサ・タービン事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス&サポート拠点のネットワーク整備 → グローバル拠点の継続的な整備 ・エネルギー分野向け製品ラインアップの拡充 → 市場拡大を視野に入れた開発の推進
	<p>冷熱事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国製造拠点との一体経営の推進 → グループ間での生産最適化の推進 ・グローバル製品の開発・設計の推進 → 日中での共同開発・設計体制の整備
<p><u>事業基盤の強化</u></p>	<p>全事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産革新運動及び戦略的調達による原価低減 ・国内販売・サービス&サポート体制の効率化

2012年3月期セグメント別業績見通し

エンジニアリング事業

(単位：億円)	2011年3月期 通期実績	2012年3月期 期初計画	2012年3月期 見込み	増減 (対計画比)	増減 (対前期比)
受注	825	650	650	—	△175
売上	516	500	500	—	△16
営業利益	9	40	0	△40	△9

通期見通し

- ◆ 受注計画 新設EPC案件の受注とO&Mの堅調な推移により、期初計画達成を見込む。
- ◆ 売上計画 前期までの新規EPC案件受注が低迷した影響により減少を見込む。
- ◆ 利益計画 O&M事業を中心に案件毎の採算管理の徹底などを行うことにより、売上の減少や海外焼却炉プラント案件の追加損失をカバーして、ブレイクイーブンを見込む。

2012年3月期セグメント別業績見通し

エンジニアリング事業 . . . 事業別主要施策

事業方針	主要施策
<p><u>発注者ニーズへの柔軟な対応</u></p>	<p>EPC部門・O&M部門の一体経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EPCの設計ノウハウを活用した既設炉の基幹的設備改良提案強化 ・維持管理における複数年／長期包括契約の推進と採算性向上
<p><u>競争力・収益力の向上</u></p>	<p>総合提案力・価格競争力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EPCの設計ノウハウおよびO&Mの維持管理ノウハウを一体化したDBO案件提案 ・営業、工事部門の一体化による業務効率の改善 ・専門組織の設置による標準化・パッケージ化の一層の推進
<p><u>建替需要の受注確保</u></p>	<p>O&Mネットワーク活用によるEPC受注への展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・O&M部門の全国サービス網による建替案件の早期把握 ・効率的な更新計画の早期提案

2012年3月期セグメント別業績見通し

精密・電子事業

(単位：億円)	2011年3月期 通期実績	2012年3月期 期初計画	2012年3月期 見込み	増減 (対計画比)	増減 (対前期比)
受注	746	750	630	△120	△116
売上	679	750	650	△100	△29
営業利益	80	80	65	△15	△15

通期見通し

- 受注計画 主要顧客の一部で設備投資計画の後ろ倒しを発表。投資を継続している顧客はいるものの、受注高は期初計画を下回る見込。
- 売上計画 前期受注残の下支えもあったが、今期の受注減少の影響が大きく、期初計画を下回る見込。
- 利益計画 売上減の影響はあるものの、固定費抑制などの対策を講じ、営業利益率10%確保を目指す

2012年3月期セグメント別業績見通し

精密・電子事業

・・・ 事業別主要施策

事業方針	主要施策
<p>市況に左右されない 事業体質の構築</p>	<p>コンポーネント機器事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EVシリーズ・Gシリーズの本格投入による収益性向上 ・非半導体分野向け機器のラインナップ拡充とシェア拡大
	<p>CMP装置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主力機種300S IIの熟成と継続的なコストダウン ・機能改善によるプロセス性能向上によりシェア拡大
<p>高収益の確保</p>	<p>新事業推進（めっき装置、ベベル研磨装置、その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TSV用量産機の開発と三次元実装分野のシェア拡大 ・ベベル研磨装置のウェーハ内収率改善技術への応用
<p>人材配置の最適化</p>	<p>ものづくりプロセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産革新活動の定着・浸透による生産性向上 ・海外生産・海外調達の推進とその組織体制の構築
	<p>サービス&サポート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かな対応を通じたサービス&サポート事業の強化 ・グローバルな在庫の一元管理体制の確立

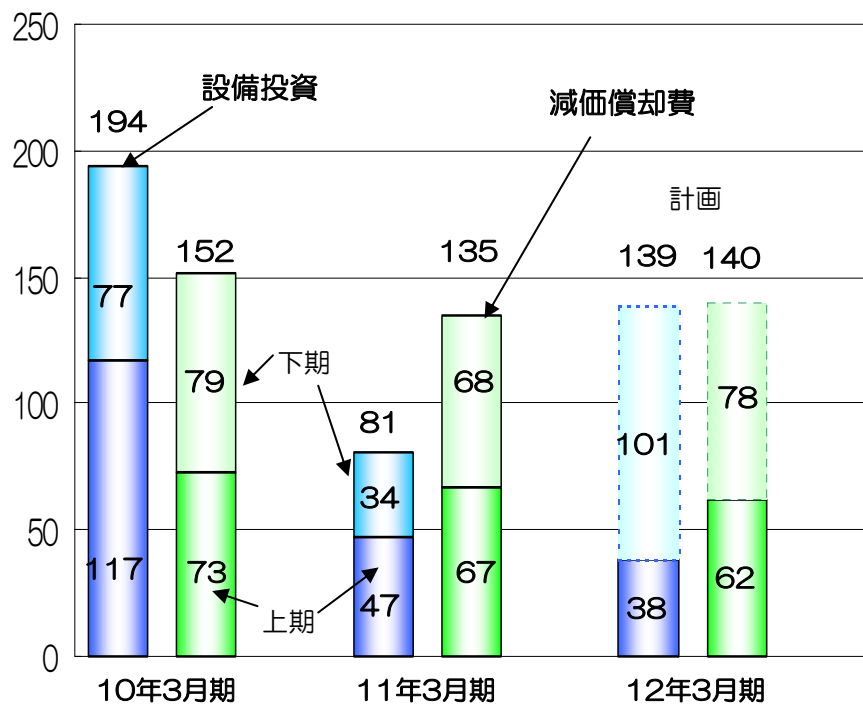
2012年3月期 業績見通し

(単位：億円)	2011年3月期 (実績) (A)	2012年3月期 (期初計画) (B)	2012年3月期 (見込み) (C)	増減 (対計画比) (C-B)	増減 (対前期比) (C-A)
受注高	4,309	4,400	4,150	△250	△159
売上高	4,016	4,050	3,950	△100	△66
営業利益	315	280	200	△80	△115
経常利益	287	250	160	△90	△127
当期純利益	281	130	80	△50	△201
実績レート	1ドル=85.9円	—	—	—	—
想定レート	1ドル=85円	1ドル=80円	1ドル=75円	—	—

設備投資・減価償却費・研究開発費

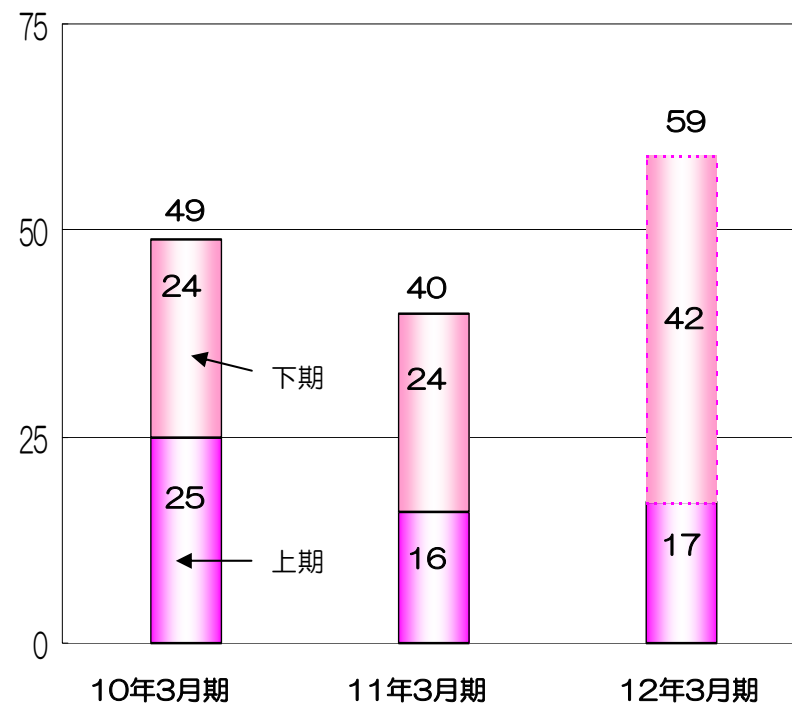
設備投資・減価償却費

単位：億円



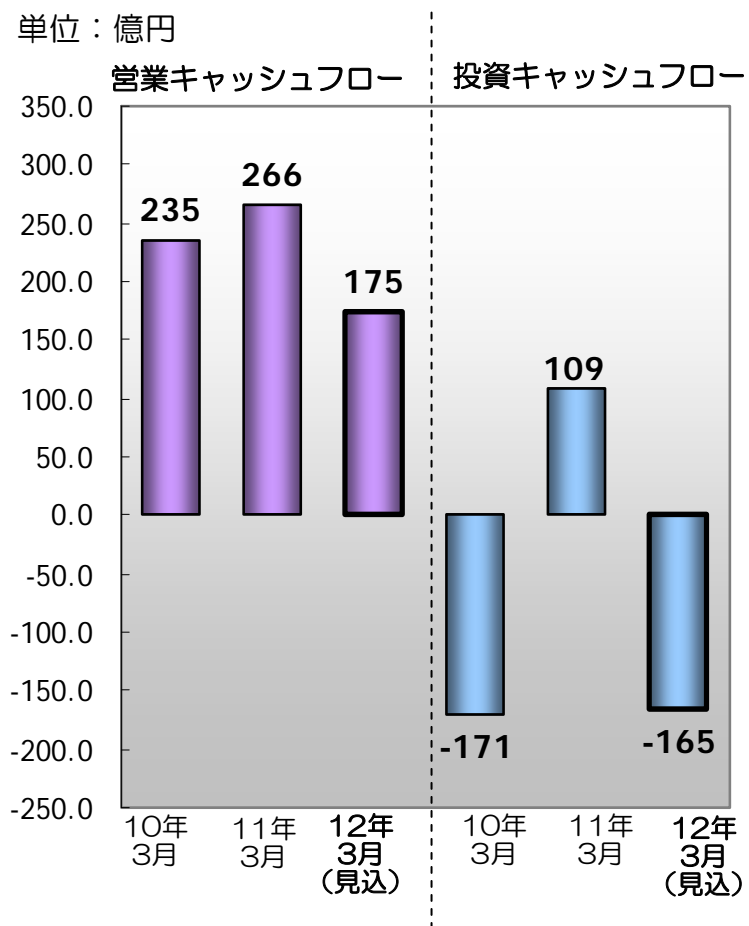
研究開発費

単位：億円

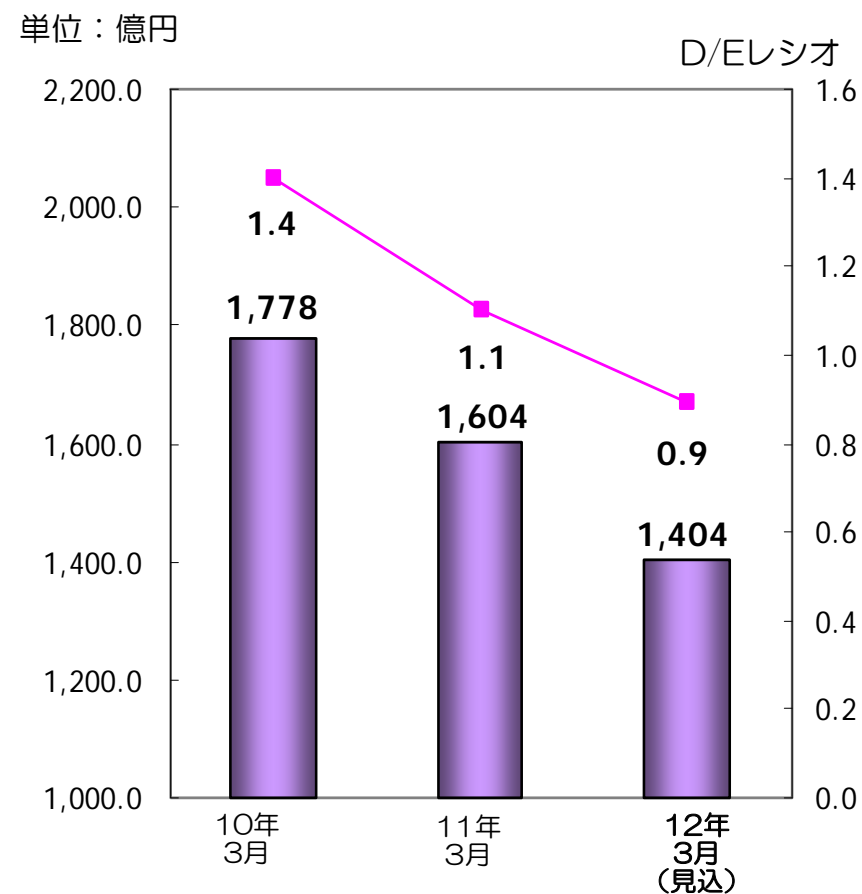


2012年3月期 キャッシュフロー計画

キャッシュフロー計画

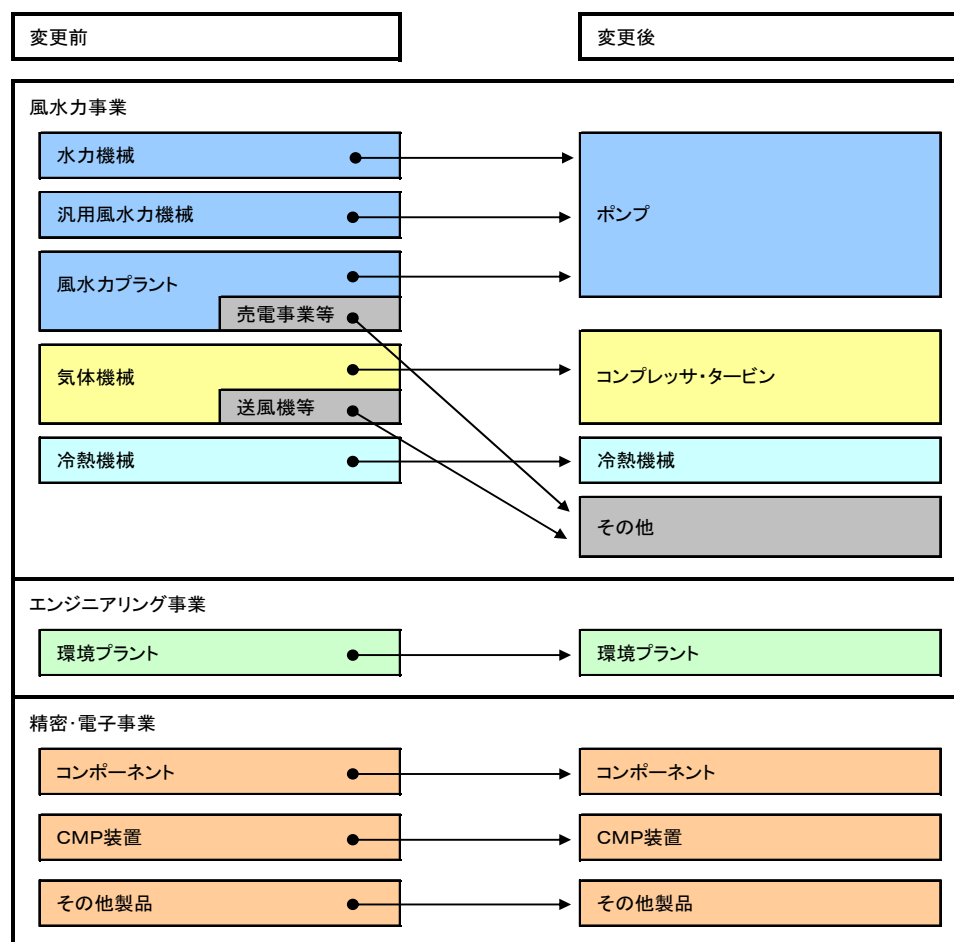


有利子負債の削減



2012年3月期第2四半期決算 事業区分変更について

補足説明資料で開示している、報告セグメントより細かな事業単位を今期より変更



本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定、を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。